

豊中市公共事業再評価委員会

日時：令和 7 年 2 月 20 日（木） 9 時 30 分～11 時 30 分

場所：地域共生センター西館 会議室 4

次 第

< 案 件 >

1. 会長の選出について
2. 都市再生整備計画（岡町駅東地区）について
3. その他

< 資 料 >

- ・資料 1 豊中市公共事業再評価委員会に係る規則等について
- ・資料 2 豊中市公共事業再評価委員会 出席者名簿
- ・資料 3 都市再生整備計画 事後評価シート（案）
- ・資料 4 都市再生整備計画事業（岡町駅東地区）について
- ・資料 5 「地域共生センター（まるぷらっと）西館」利用者アンケート調査報告

豊中市公共事業再評価委員会に係る規則等について

1. 豊中市公共事業再評価委員会規則

第1条 この規則は、執行機関の附属機関に関する条例（昭和28年豊中市条例第38号）第2条の規定に基づき、豊中市公共事業再評価委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営その他委員会について必要な事項を定めることを目的とする。

第2条 委員会は、市長の諮問に応じて、公共事業の再評価について調査審議し、その意見を答申するものとする。

第3条 委員会は、委員5人以内で組織する。

2 委員は、学識経験を有する者のうちから、市長が委嘱する。

第4条 委員は、第2条の規定による調査審議が終了したときは、解嘱されるものとする。

2 市長は、特別の理由があると認める場合は、前項の規定にかかわらず、委員を解嘱することができる。

第5条 委員会に委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選によって定める。

3 委員長は、委員会の事務を総理し、委員会を代表する。

4 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の定めた委員が、その職務を代理する。

第6条 委員会は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第7条 委員長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

第8条 委員会の庶務は、都市計画推進部都市整備課において処理する。

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が定める。

附 則

1 この規則は、平成24年10月1日から施行する。

2 この規則の施行後最初に招集される委員会並びに委員長及びその職務を代理する者に事故がある場合その他委員長の職務を行う者がいない場合における委員会の招集及び委員長が決定されるまでの委員会の議長は、市長が行う。

附 則（平成27年3月25日規則第20号抄）

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月22日規則第33号抄）

1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令和3年3月22日規則第10号）

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

2. 豊中市情報公開条例(抜粋)

(会議の公開)

第23条 附属機関等の会議(法令等の規定により公開することができないとされている会議を除く。)は、公開するものとする。ただし、次に掲げる場合は、非公開とすることができる。

- (1) 不開示情報が含まれる事項について調停、審査、審議、調査等を行う会議を開催する場合
- (2) 物理的な妨害行動等が客観的に予測され、当該会議の公正かつ円滑な運営に支障が生じると認められる場合

3. 審議会等の会議の公開の実施に関する要領(抜粋)

第2 公開、非公開の決定

- 1 審議会等の会議の公開、非公開については、条例に基づき、当該審議会等がその会議において決定するものとする。ただし、新たに設置される審議会等であって、審議会等の設置の趣旨、目的等から当該審議会等の会議を公開することが条例に基づき明らかな場合は、当該審議会等を設置する執行機関が会議を公開することを決定することができる。
- 2 審議会等は、会議の公開、非公開を決定するときは、原則として、当該決定後に開催するすべての会議について、一括して決定するものとする。この場合において、条例第7条各号に掲げるいずれかの情報(以下「非公開情報」という。)に関し審議等を行う会議(その一部において非公開情報に関し審議等を行う場合を含む。)に限り非公開とする旨の決定を行うことができる。
- 3 審議会等は、個々の会議において審議等を行う情報が非公開情報に該当するか否かの決定権限を、あらかじめ当該審議会等の長(部会等にあつては、部会等の長)に委任することができるものとする。
- 4 審議会等は、会議を公開しないことを決定したときは、その理由を明らかにするものとする。
- 5 審議会等は、その所掌事項に変更があった場合又は社会情勢に変化等があった場合は、適宜会議の公開、非公開について見直しを行うものとする。

豊中市公共事業再評価委員会 出席者名簿

日時：令和7年2月20日（木）9時30分～11時30分
場所：地域共生センター西館 会議室4

■委員

(50音順)

氏名	所属	選任区分
新崎 国広	元大阪教育大学 教育学部 教育協働学科 教授	学識経験者
飯田 匡	関西学院大学 建築学部 准教授	学識経験者
伊丹 康二	武庫川女子大学 生活環境学部 生活環境学科 准教授	学識経験者
柚 愛	摂南大学 理工学部 住環境デザイン学科 准教授	学識経験者
佐瀬 美恵子	元甲南女子大学 准教授	学識経験者

任期：2024年12月1日～2025年3月31日

■説明者

氏名	所属	備考
甲斐 智典	豊中市 福祉部 地域共生課 課長	説明者
良本 弘和	豊中市 福祉部 地域共生課 主幹	説明者
高橋 和正	豊中市 福祉部 地域共生課 課長補佐	説明者
大東 礼生	豊中市 福祉部 地域共生課 係長	説明者
出口 琴袈	豊中市 福祉部 地域共生課 主事	説明者
藤原 晋玄	豊中市 都市計画推進部 都市整備課 課長補佐	整備計画担当課
藤分 志保	豊中市 都市計画推進部 都市整備課 主査	整備計画担当課
山田 楓	豊中市 都市計画推進部 都市整備課	整備計画担当課
辻本 慎一	株式会社都市空間研究所	コンサルタント

資料3

都市再生整備計画 事後評価シート(案)
岡町駅東地区

令和7年2月

大阪府豊中市

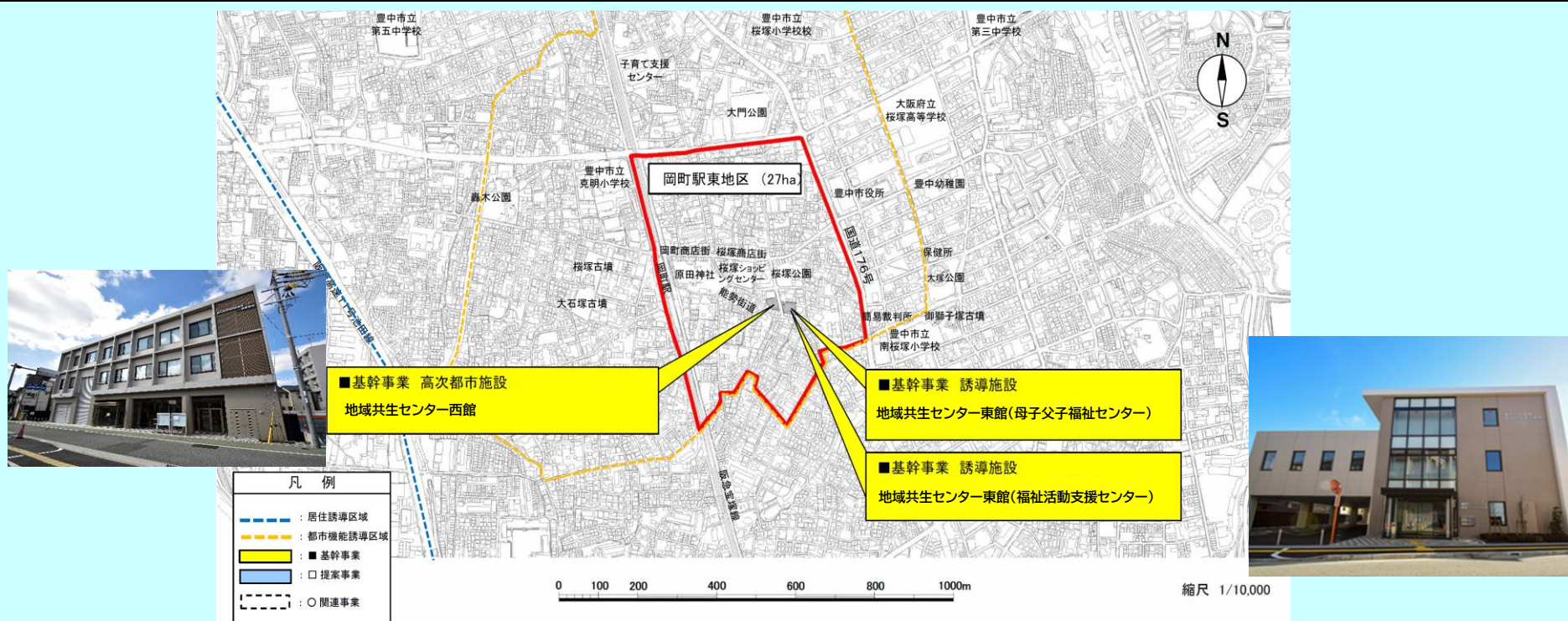
様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府	市町村名	豊中市	地区名	岡町駅東地区			面積	27ha				
交付期間	令和1年度～令和5年度	事後評価実施時期	令和6年度	交付対象事業費	756.4百万円	国費率	50%						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	高次都市施設／誘導施設 社会福祉施設(福祉活動支援センター)／誘導施設 社会福祉施設(母子父子福祉センター)									
			提案事業	なし									
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
			基幹事業	なし									
	提案事業	なし											
	新たに追加した事業		基幹事業	なし									
			提案事業	なし									
交付期間の変更	当初	令和1年度～令和5年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
変更	変更なし												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	施設利用者数	人	64,275	H29	77,000	R5	8,753	77,045	○	あり	● 高次都市施設である「地域共生センター西館(旧社会館・桜塚会館)」は、夜間の利用が少なく、利用者数は目標に達しなかった。一方、「地域共生センター東館」は、地域組織の催しのみならず、地域住民が気軽に立ち寄れる交流スポットとなったことから、目標を超える来場があった。 また、誘導施設である「福祉活動支援センター」と「母子父子福祉センター」においては、相談窓口やボランティア活動スペース等の利用者数が増加した。	令和7年4月
	指標2	施設利用率(福祉サービスの充実)	%	49.7	H29	70.0	R5	59.3%	70.1%	○	あり	● 「地域共生センター西館」は、夜間の利用率が低かったため、全体の利用率も低くなった。一方、新たに入居した「中央地域包括支援センター」は、高齢者や家族の相談等での来場が多くあり、利用率が高くなった。 また、福祉活動支援センターは、「ファミリーサポートセンター」「ボランティアセンター」への市民の来場が多くあり、目標を上回る高い利用率となった。	令和7年4月
	指標3	地域組織の施設利用回数(地域コミュニティの活性化)	回	40	H29	80	R5	69	131	○	あり	● 高次都市施設「地域共生センター西館」では、目標を超える、131回の利用回数があった。	令和7年4月
	3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1		—											
その他の数値指標2	—												
4)定性的な効果発現状況	福祉に関する機能が集約されたことにより、関係団体が連携しやすくなった。各種相談窓口が整い、分野を越え複合的な課題を持つ相談者を、館内で適切な機関につなぐことができるようになった。 西館のロビーでは、文化活動や福祉に関する相談・講習会、近隣の公園や商店街の利用者が立ち寄る交流スペースとなった。												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況		今後の対応方針等				
	モニタリング	指標の算定					都市再生整備計画に記載し、実施できた		●	継続的に事業効果を確認するため、一定期間指標のモニタリングを行う。			
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス	中塚塚自治会 岡町・桜塚商店街					都市再生整備計画に記載し、実施できた		●	令和6年10月、地域の「秋まつり」に合わせて、「神輿」を西館ロビーに展示したことにより、多くの地域住民の来場があった。地域住民や地元商店街と協力して、今後も「夏まつり」などを実施し、地域住民が集いくなる施設となるように取り組む。			
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
持続的なまちづくり体制の構築	おかまち・まちづくり協議会						都市再生整備計画に記載し、実施できた		●	令和6年12月に豊中市と協議会で役割分担し、西館を地域資源として活用して「にぎわいづくり」に活かしていくことを検討した。今後も利用を増進し、持続的なまちづくりにつなげる。			
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

豊中市岡町駅東地区都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：本市の拠点福祉サービスを充実し、地域をつなぐ拠点づくり 目標１：福祉サービスの充実 目標２：地域コミュニティの活性化	施設利用者数	人	64,275	H29	77,000	R5	77,045	R6
	施設利用率(福祉サービスの充実)	%	49.7	H29	70.0	R5	70.1	R6
	地域組織の施設利用回数(地域コミュニティの活性化)	回	40	H29	80	R5	131	R6



まちの課題の変化	・施設が新設され、福祉に関する各種相談窓口が集約されたことにより、関係団体間の連携が強化され、分野を越えた複合的な課題を持つ相談者への支援力も強化し、福祉サービスが充実した。 ・「地域共生センター西館」では、131団体の地域組織の利用があり、文化活動や福祉に関する相談・講習会の実施や、近隣の公園や商店街の利用者が立ち寄る交流スペースとなり、コミュニティが活性化した。 ・本事業により福祉に関する複合拠点、地区会館が整備されたことにより、公共サービスの中心的拠点として必要な拠点の公共施設が整い、課題が解決した。 ・ただし、市民の利便性を向上するため、拠点の公共施設である地域共生センターを引き続き周知していく必要がある。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	・地域共生センターに来訪する利用者の利用実態を継続的に把握していく。(施設利用者等のモニタリング、利用者アンケートの実施) ・地域共生センターに入居する関連団体間の連携を強化していくため、連絡会議を設け、施設運用を継続的に改善し、効果を維持して行く。(連絡会議の実施、施設運用の継続的な改善) ・市民の利便性を向上するため、地域共生センターの施設案内や施設内で開催するイベントなどを市広報紙・HPに記載したり、他の公共施設等でチラシを配架し、広報していく。地域イベントの開催などは商店街と連携し広報していく。(市広報紙・HP、チラシ等による広報)

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1ー① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1ー② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2ー① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2ー② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2ー参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3ー① モニタリングの実施状況
- 添付様式3ー② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3ー③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4ー① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4ー② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4ー③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5ー① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5ー② まちの課題の変化
- 添付様式5ー③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5ー参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5ー④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6ー参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
高次都市施設	地域共生センター西館	354.0	RC3階建て 床面積781.76㎡	273.2	RC3階建て 床面積576.42㎡	なし	福祉に関する機能の集約、文化活動の場、地域住民の立ち寄る交流スペースが整い、まちづくりの目標である福祉サービスの充実、地域コミュニティの活性化、また指標の達成に寄与した	●	
誘導施設 社会福祉施設	地域共生センター東館(福祉活動支援センター)	276.0	RC3階建て 床面積513.70㎡	370.9	RC3階建て 床面積629.58㎡	なし	福祉に関する機能を集約し、まちづくりの目標である福祉サービスの充実、また指標の達成に寄与した	●	
誘導施設 社会福祉施設	地域共生センター東館(母子父子福祉センター)	45.0	RC3階建て 床面積83.86㎡	112.3	RC3階建て 床面積190.59㎡	なし	福祉に関する機能を集約し、まちづくりの目標である福祉サービスの充実、また指標の達成に寄与した	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域総合支援事業	なし								
事業活用調査	なし								
まちづくり活動推進事業	なし								

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
なし								

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
	単位				基準 年度		基準 年度		目標 年度						あり	なし
指標1	施設利用者数	人	施設の年間利用者数 (福祉会館、桜塚会館、母子父 子福祉センター、社会福祉協議 会)			64,275	H29	77,000	R5	モニタリング	R5	8,753	モニタリング	×	●	
										事後評価	確定 見込み	●	77,045	事後評価		
指標2	施設利用率 (福祉サービスの充実)	%	施設の利用時間枠による年間 利用率 (福祉会館、桜塚会館、母子父 子福祉センター、社会福祉協議 会)			49.7	H29	70.0	R5	モニタリング	R5	59.3	モニタリング	×	●	
										事後評価	確定 見込み	●	70.1	事後評価		
指標3	地域組織の施設利用回 数 (地域コミュニティの活性 化)	回	地域組織が施設を利用する年 間利用回数 (自治会、老人会、婦人会、子供 会、協議会、民生委員、保護司 会、更正保護女子、BBS会等)			40	H29	80	R5	モニタリング	R5	69	モニタリング	×	●	
										事後評価	確定 見込み	●	131	事後評価		

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	西館、東館の全館が供用開始し、全機能の稼働し始めた令和6年4月から令和6年12月までの利用状況より、令和6年度(令和6年4月から令和7年3月)の予想値は、目標値の達成が見込まれる。	モニタリングは令和6年1月から3月の利用状況。ただし、東館が未供用で、全機能が稼働していないため未達成。
指標2	西館、東館の全館が供用開始し、全機能の稼働し始めた令和6年4月から令和6年12月までの利用状況より、令和6年度(令和6年4月から令和7年3月)の予想値は、目標値の達成が見込まれる。	モニタリングは令和6年1月から3月の利用状況。ただし、東館が未供用で、全機能が稼働していないため未達成。
指標3	西館、東館の全館が供用開始し、全機能の稼働し始めた令和6年4月から令和6年12月までの利用状況より、令和6年度(令和6年4月から令和7年3月)の予想値は、目標値の達成が見込まれる。	モニタリングは令和6年1月から3月の利用状況。ただし、東館が未供用で、全機能が稼働していないため未達成。

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標			(参考)※1 計画以前の値 (ア)	従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
	単位			基準 年度	基準 年度					
その他の 数値指標1	—					モニタリング				
						事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標2	—									

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

福祉に関する機能が集約されたことにより、関係団体が連携しやすくなった。各種相談窓口が整い、分野を越え複合的な課題を持つ相談者を、館内で適切な機関につなぐことができるようになった。
西館のロビーでは、文化活動や福祉に関する相談・講習会、近隣の公園や商店街の利用者が立ち寄る交流スペースとなった。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
指標の算定	予定どおり実施した		・令和6年1月～3月の西館について、指数の利用者数(8,753人)、施設利用率59.3%、地域組織の施設利用回数69回を計測した。	・継続的に事業効果を確認するため、一定期間指標のモニタリングを行う
	予定はなかったが実施した	●		
	予定したが実施できなかった (理由)			

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
中桜塚自治会 岡町・桜塚商店街	予定どおり実施した	●	・令和6年10月「秋まつり」で西館を活用した。(「神輿」を西館ロビーに展示)	・今後も「夏まつり」なども含め利用を増進していく
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
おかまち・まちづくり協議会	予定どおり実施した	●	・令和6年12月に豊中市と協議会で役割分担し、西館を地域資源として活用して「にぎわいづくり」に活かしていくことを検討した。 おかまち・まちづくり協議会 「おかまち・まちづくり構想」に基づき、都市活動活性化、歴史再発見、地区内交通円滑化、安全・安心な環境づくり、を基本方針としてまちづくりを進める民間組織。	・今後も利用を増進していく
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4ー① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
意見交換の実施	豊中市	令和6年12月	豊中市福祉部地域共生課

添付様式4ー② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標3		その他の数値指標	
指 標 名		施設利用者数		施設利用率 (福祉サービスの充実)		地域組織の施設利用回数 (地域コミュニティの活性化)			
種別	事業名・箇所名	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見
基幹事業	高次都市施設・地域共生センター西館	◎	福祉に関する各種相談窓口の集約、文化活動や福祉に関する講習会の実施や、近隣の公園や商店街の利用者が立ち寄る交流スペースが整ったことから、施設使用者数が増加した。	◎	福祉に関する各種相談窓口の集約、文化活動や福祉に関する講習会の実施や、近隣の公園や商店街の利用者が立ち寄る交流スペースが整ったことから、施設使用者数が増加した。	◎	文化活動や福祉に関する講習会の実施や、近隣の公園や商店街の利用者が立ち寄る交流スペースが整ったことから、施設使用者数が増加した。		
	誘導施設 社会福祉施設・地域共生センター東館(福祉活動支援センター)	◎		◎		-			
	誘導施設 社会福祉施設・地域共生センター東館(母子父子福祉センター)	◎		○		-			
提案事業									
関連事業									

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
一 : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	親子が一緒に催しに参加できる子どもが安全で遊べるスペースの設置、ロビーの利用者を増やすための展示スペース・ウォーターサーバーの設置等を検討し、利用増進を図る。	夜間の利用率を高めるため、自習室としての解放を検討する。	来訪者や貸室利用団体、自治会、協議会、商店街などの意見を把握し、利用増進に向け、改善を継続していく。	
-------	---	------------------------------	--	--

添付様式4ー③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		—			—			—					
指 標 名		—			—			—					
種別	事業名・箇所名	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類
基幹事業													
提案事業													
関係事業													

※目標未達成への影響度
××：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の直接的な原因となった。
×：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の間接的な原因となった。
△：数値目標が達成できなかった中でも、
ある程度の効果をあげたと思われる。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが
明確なので、評価できない。

※要因の分類
分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)				
------------------	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
意見交換の実施	豊中市 おかまち・まちづくり協議会	令和6年12月	豊中市都市計画推進部都市整備課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
施設の老朽化、新たなニーズ に対応していくために、福祉会 館、母子父子福祉センターの 更新、機能強化が必要	施設が新設され、福祉に関する各種相談窓口が集約されたことにより、関係団体間の連携が強化され、分野を 越えた複合的な課題を持つ相談者への支援力も強化 し、福祉サービスが充実した。		市民の利便性を向上するため、拠点の公共施設である地域 共生センターを引き続き周知していく必要がある。
少子高齢化、担い手不足に対 応し、豊かな地域資源の有効 活用していくために、地域住 民、商業者、地域組織をつな ぐコミュニティの活性化が必要	「地域共生センター西館」では、131回の地域組織の利 用があり、文化活動や福祉に関する相談・講習会の実 施や、近隣の公園や商店街の利用者が立ち寄る交流ス ペースとなり、コミュニティが活性化した。		

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5ー③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	利用実態の把握	地域共生センターに来訪する利用者の利用実態の継続的に把握していく。	施設利用者等のモニタリング 利用者アンケートの実施
	連携強化の継続	地域共生センターに入居する関連団体間の連携を強化していくため、連絡会議を設け、施設運用を継続的に改善し、効果を維持していく。	連絡会議の実施 施設運用の継続的な改善

B欄 改 善 策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	施設・イベントの周知	市民の利便性を向上するため、地域共生センターの施設案内や施設内で開催するイベントなどを市広報紙・HPに記載したり、他の公共施設等でチラシを配架し、広報していく。地域イベントの開催などは商店街と連携し広報していく。	市広報紙・HP、チラシ等による広報

・未達成の目標を達成するための改善策
・未解決の課題を解消するための改善策
・新たに発生した課題に対する改善策

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5ー③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。（チェック欄）

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題（都市再生整備計画）を再確認した。
●	事業の実施過程の評価（添付様式3）を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用（添付様式4ー②）を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針（添付様式4ー③）を再確認した。
●	残された課題や新たな課題（添付様式5ー②）を再確認した。

--

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指 標			従前値		目標値		評価値			目標 達成度	1年以内の 達成見込みの 有無		フォローアップ計画			
			単位	年度	年度	予定時期							計測方法	その他特記事項		
指標1	施設利用者数	人	64,275	H29	77,000	R5	確定		77,045	○	あり	●	→	令和7年4月	令和7年1月～同年3月をフォローアップ期間とし、令和6年4月～令和7年3月までの利用者数(実績)を令和6年度の施設利用者数の確定値として求める	施設・イベントの周知を継続
							見込み	●			なし					
指標2	施設利用率 (福祉サービスの充実)	%	49.7	H29	70.0	R5	確定		70.1	○	あり	●	→	令和7年4月	令和7年1月～同年3月をフォローアップ期間とし、令和6年4月～令和7年3月までの利用率(実績)を令和6年度の施設利用率の確定値として求める	施設・イベントの周知を継続
							見込み	●			なし					
指標3	地域組織の施設 利用回数 (地域コミュニティの活性化)	回	40	H29	80	R5	確定		131	○	あり	●	→	令和7年4月	令和7年1月～同年3月をフォローアップ期間とし、令和6年4月～令和7年3月までの利用回数(実績)を令和6年度の施設利用回数の確定値として求める	施設・イベントの周知を継続
							見込み	●			なし					
指標4							確定				あり		→			
							見込み				なし					
その他の 数値指標1							確定				あり		→			
							見込み				なし					
その他の 数値指標2							確定				あり		→			
							見込み				なし					

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	福祉に関する機関を集積し、地域会館や「神輿」の展示、ロビースペースを設けた複合施設を整備したことで、多くの方に利用者が利用出来る施設となり、福祉サービスの充実、コミュニティの活性を図ることができ、指標を達成する見通しがついた。	多様な機能を集積することで利用強化が図れ、サービスの充実や地域コミュニティの活性化が期待できる。
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	福祉施設については来訪者が多いことが、必ずしも評価を上げるものでないことをふまえて、指標を精査したことにより、利用実態を適正に把握することができた。	事業効果を確認するため、現況データを整理し、事業当初から継続的に利用実態を把握していく方法を決めておくことが重要である。
	うまく いかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		-
	うまく いかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

庄内駅西地区(令和7年度事後評価)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市ホームページに原案と意見収集方法を記載	令和7年2月6日(木)～ 令和7年2月19日(水)	令和7年2月6日(木)～ 令和7年2月19日(水)	郵送、ファックス、電子メール及び電子申込システムでの申込受付	豊中市福祉部地域共生課
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他	窓口閲覧(地域共生課、地域共生センター西館)	令和7年2月6日(木)～ 令和7年2月19日(水)	令和7年2月6日(木)～ 令和7年2月19日(水)		
住民の意見	・夜間の利用をさせていただきます。会議だけでなく、子供たちの習い事などで活用されればもっと地域に馴染みのある活気のある建物になると思います。 ・ロビーは、学生や子供たち、お年寄りなど様々な世代の方が立ち寄って足を休められるよう、テーブルや飲み物などがあると、人の集まる場所として交流がより促進されると思いました。 ・中央地域包括支援センターと障害相談支援センターが西と東にそれぞれあることは、両方にお世話になる方にとって便利だと思います。 ・消防団やセンターで、駐車場などでお餅つき大会や消防車の写真撮影会などやっていたら楽しそうだなと思いました。				

(6)評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	新崎 国広 元大阪教育大学 教育学部 教育協働学科 教授 飯田 匡 関西学院大学 建築学部 准教授 伊丹 康二 武庫川女子大学 生活環境学部 生活環境学科 准教授 榎 愛 摂南大学 理工学部 住環境デザイン学科 准教授 佐瀬 美恵子 元甲南女子大学 准教授	令和7年2月	豊中市福祉部地域共生課	豊中市公共事業再評価委員会規則	独自に設置
その他の委員					

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	—
	成果の評価	
	実施過程の評価	
	効果発現要因の整理	
	事後評価原案の公表の妥当性	
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	
	フォローアップ	
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	
その他		

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

（７） 有識者からの意見聴取

添付様式 ９ 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理（添付様式５）、今後のまちづくり方策の検討（添付様式６）、評価委員会の審議（添付様式９）以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
新崎 国広 元大阪教育大学 教育学部 教育協働学科 教授	令和7年2月	豊中市福祉部地域共生課
飯田 匡 関西学院大学 建築学部 准教授	令和6年11月	豊中市福祉部地域共生課
伊丹 康二 武庫川女子大学 生活環境学部 生活環境学科 准教授	令和6年11月	豊中市福祉部地域共生課
榊 愛 摂南大学 理工学部 住環境デザイン学科 准教授	令和6年11月	豊中市福祉部地域共生課
佐瀬 美恵子 元甲南女子大学 准教授	令和6年11月	豊中市福祉部地域共生課

有識者の意見	・市民への広報がもっと必要ではないか。 ・入居団体や利用者の利用状況・意見を把握することが必要である。 ・関係機関も含めて、近隣の施設（地域共生センター以外）との連携も大事である。
--------	--

都市再生整備計画(第2回変更)

おかまちえきひがしちく
岡町駅東地区

おおさかふ とよなか し
大阪府 豊中市

令和6年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☒
都市再生整備計画事業	☐
まちなかウォークアブル推進事業	☐

目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	大阪府	市町村名	豊中市	地区名	岡町駅東地区			面積	27	ha					
計画期間	令和	元	年度	～	令和	5	年度	交付期間	令和	1	年度	～	令和	5	年度

目標 大目標:本市の拠点的福祉サービスを充実し、地域をつなぐ拠点づくり 目標1:福祉サービスの充実 目標2:地域コミュニティの活性化
目標設定の根拠 都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 本市は、大阪市に隣接する立地特性から、都心通勤者のベッドタウンとして、早くから阪急宝塚線沿線や千里ニュータウンにおいて開発が進んだ。各駅周辺では商業・業務機能が集積し、公共交通網の充実などにより、生活利便性が高く、教育・文化などの環境にも恵まれた質の高い住宅都市を形成している。また、国土軸に位置し、広域的な道路ネットワークが形成されていることで、西部地域や南部地域では、工業系施設の立地が進み、ものづくり都市として府内でも5番目に多く事業所が立地するなど、都市の活力を支えている。さらに、北部大阪の都市拠点として、複合的な都市機能が集積する千里中央地区や、広域的な交通・交流拠点である大阪国際空港を擁しており、周辺都市をはじめとして広域連携が強い都市となっている。 本市の市街地の成立ちや土地利用、都市機能や公共交通の充足状況から、現状ではコンパクトな都市構造を呈し、市全体としては人口が微増しているものの、既に超高齢化が進み、将来においては全国的な人口減少の影響を受けるものと見込まれている。また、持続可能な行財政運営を行っていくためには、これまで本市が培ってきた、住宅都市やものづくり都市としての魅力を維持し高めることで、今後も多世代の人々や事業者から選ばれる都市づくりを進めることが重要となっている。 「第2次都市計画マスタープラン」では、「都市空間の将来像」において、周辺都市との連携のもと、地域特性に応じた住居・商業・工業の土地利用の適切な誘導・配置による集積効果の発揮と、公共交通の利便性の向上を進めるため、居住・都市機能・産業の各誘導ゾーンを示すことと合わせて、バス路線の充実に向けた地域連携網を設定し、居住の拡散防止による利便性の高い住環境の維持と、事業所の操業環境の確保や、医療・福祉・子育て・商業などの生活サービス機能の維持・充実とともに、歩いて暮らせる都市づくりに取り組むものとしています。また、「都市空間の将来像」の実現を図るためには、行政・市民・事業者などが一体となり取り組むための長期的な時間軸をもったアクションプランに沿って進める必要があり、将来を見据えた都市づくりの方針のもと、公的不動産の活用なども視野に入れた公共交通網の活用や、居住誘導並びに生活を支える都市機能(医療・福祉・子育て・商業など)の誘導をめざす包括的な計画として「立地適正化計画」を策定し、未来を担う若者や子育て世代、高齢者などの多世代の人々や事業者に選ばれる都市づくりを進めるところである。 都市機能を誘導する区域は、市内に7つ設定しており、そのうち本計画の岡町駅東地区を含む豊中駅・岡町駅周辺については、拠点的公共施設を集積する区域と位置づけている。本市の公共サービスの中心的拠点として、公共交通を利用して広範囲の市民が利用する拠点的公共施設を維持・充実し、市民の利便性向上を図るとともに、商業業務施設の維持・充実により拠点の魅力向上していく役割を担っている。 都市機能誘導区域内の施設再編による施設廃止や集約化後の跡地などの公的不動産の活用については、手法について検討するなど、より有効な活用を進める。
まちづくりの経緯及び現況 岡町駅東地区では、平成9年に商店街店主を中心に結成されたおかまち・まちづくり協議会から「おかまち・まちづくり構想」が提案され、平成11年にはこの構想を踏まえ、豊中市が「おかまち地区のまちづくり基本方針」を策定している。この構想・基本方針では、今ある基盤や地域資源を活かした段階的な改善・修復型のまちづくりを進めていくこととしており、「商業・商店街・公共施設の活性化」、「歴史の再発見」、「地域内交通の円滑化」、「安全安心な環境づくり」を掲げ、官民協働でまちづくりを進めていくことを示している。構想・基本方針の策定から、おかまち・まちづくり協議会を中心としたまちづくりイベントが実施され、現在も商業活性化に向けたソフト事業も充実させながらおかまち・まちづくり協議会の活動が継続している。(具体的に、文化事業やコミュニティ活動の拠点として空き店舗を活用した「あーとらんど」が設けられ、定期的な音楽イベントが行われているほか、原田神社や商店街をステージとする「まちの文化祭」や、音楽を聞きながら食事を楽しんでもらう「フードフェス」などを開催している。また、地域の歴史文化を発信するための能勢街道PRグッズの作成などや、空き店舗対策、商店街での自転車の押し歩き活動に取り組んでいる。福祉会館等の建替えにあたっては、利用者に魅力があり賑わいを生む施設となるように、地域で意見交換などを行っている。) 本地区は、本市の中心に位置し、阪急宝塚線の岡町駅から東側の街区で、国道176号までを含む岡町、中桜塚2丁目及び中桜塚1丁目の一部が範囲となる。 阪急岡町駅から市役所までつながる東西の市役所通りには商店街が形成され、駅側についてはアーケードが整備され、歩行者自転車専用道路となっている。古くは原田神社の社地として町屋ができ、江戸時代には能勢街道が南北に通り、町場として栄えてきた歴史がある地区で、商店街の後背地は歴史文化が感じられる町並み・景観が残る住宅地となっている。一方、地区中心には福祉会館や地区会館、母子父子福祉センターが立地し、地区外の東には、豊中市役所や保健所、検察庁、簡易裁判所など拠点的な公共施設が集積している。さらに市役所の東には大阪府立桜塚高等学校が立地しており、商店街は地域住民とともに通勤・通学で通行する人が多い。 なお、地区中心にある福祉会館や地区会館、母子父子福祉センターについては、前述の構想・基本方針では建替時には地区の活性化に資する施設なるように検討するものとしており、本計画において一体的な建替えに向け、関係機関や地域との合意が整った状況にある。
課題 ・施設の老朽化、新たなニーズに対応していくために、福祉会館、母子父子福祉センターの更新、機能強化が必要 ・少子高齢化、担い手不足に対応し、豊かな地域資源の有効活用していくために、地域住民、商業者、地域組織をつなぐコミュニティーの活性化が必要
将来ビジョン(中長期) 【第4次総合計画 前期基本計画】(平成30年度～平成34年度)平成29年12月策定済 ・将来像「みらい創造都市とよなか」に向け、子ども・若者がが夢をもてるまちづくり、安全に安心して暮せるまちづくり、活力ある快適なまちづくり、いきいきと心豊かに暮せるまちづくりを目指す ・豊中市の中心軸に位置する各駅(岡町駅を含む)を中心に、地域の特色を活かしながら、中心市街地の活性化につながるまちづくりを進める 【第2次豊中市都市計画マスタープラン】(平成30年度～平成39年度)平成30年1月策定済 ・本地区:「都市拠点」公共サービスの中心地として利便性の高い都市拠点の形成「豊中中心軸を活かしたまちづくり」福祉会館の建替え、市民主体のまちづくりの推進 【立地適正化計画】(平成30年度～平成52年度)平成31年1月策定済 ・本地区:公共サービスの中心的拠点として、公共交通を利用して広範囲の市民が利用する拠点的公共施設を維持・充実し、市民の利便性向上を図るとともに、商業業務施設の維持・充実により拠点の魅力向上

都市構造再編集集中支援事業の計画 ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
都市機能配置の考え方 岡町駅東地区を含む豊中駅・岡町駅周辺については、公共サービスの中心的拠点として、公共交通を利用して広範囲の市民が利用する拠点の公共施設を維持・充実し、市民の利便性向上を図る。 これを踏まえ、岡町駅周辺地区では、古くから栄えた歴史的景観の残る街なみを保全しながら、岡町駅から市役所までの市役所通りに商業機能を配置する。また、市役所通り南部には、福祉施設、公園等の公共施設が集積していることを踏まえ、公共サービス機能を配置する。							
都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 ・拠点福祉サービスの充実を図るため、誘導施設として、老朽化が進む「福祉会館」「母子父子福祉センター」を建替え、機能強化を図る							
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等							

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	
							目標年度
施設利用者数	人	施設の年間利用者数 (福祉会館、桜塚会館、母子父子福祉センター、社会福祉協議会)	地区会館、社会福祉協議会、母子父子福祉センターの複合施設(仮称)豊中市福祉総合相談支援・交流センターにおいて、文化活動や福祉に関する相談・講習会、また交流スペースの利用者が増加する。	64, 275人	H29	77,000人	R5
施設利用率 (福祉サービスの充実)	%	施設の利用時間枠による年間利用率 (福祉会館、桜塚会館、母子父子福祉センター、社会福祉協議会)	地区会館、社会福祉協議会、母子父子福祉センターの複合施設(仮称)豊中市福祉総合相談支援・交流センターにおいて、文化活動や福祉に関する相談・講習会が行われ利用率が増加する。	49.7%	H29	70.0%	R5
地域組織の施設利用回数 (地域コミュニティの活性化)	回	地域組織が施設を利用する年間利用回数 (自治会、老人会、婦人会、子供会、協議会、民生委員、保護司会、更正保護女子、BBS会等)	地区会館等の複合施設となる(仮称)豊中市福祉総合相談支援・交流センターにおいて、自治会やまちづくり協議会などの地域組織の会議が増加する。	40回	H29	80回	R5

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【福祉サービスの充実】 ・福祉会館、母子父子福祉センターの老朽化による建替とともに、集約化することで中心的拠点機能を高めることで、（仮称）豊中市福祉総合相談支援・交流センターとして福祉サービスが充実した環境を整備する。		【基幹事業】 ・誘導施設（都市構造再編集中支援事業）：（仮称）豊中市福祉総合相談支援・交流センター整備事業（母子父子福祉センター）
		・誘導施設（都市構造再編集中支援事業）：（仮称）豊中市福祉総合相談支援・交流センター整備事業（福祉活動支援センター）
	【コミュニティの活性化】 ・地区会館を福祉会館と母子父子福祉センターを併設する（仮称）豊中市福祉総合相談支援・交流センターとして建替し、地域組織が集まり、互いの連携を深める交流スペースや会議室を提供し、地域コミュニティの活性化を図る。	【基幹事業】 ・高次都市施設：（仮称）豊中市福祉総合相談支援・交流センター整備事業（地域交流センター）
その他		

様式(1)-④-1

(金額の単位は百万円)

...A

...

[illegible]

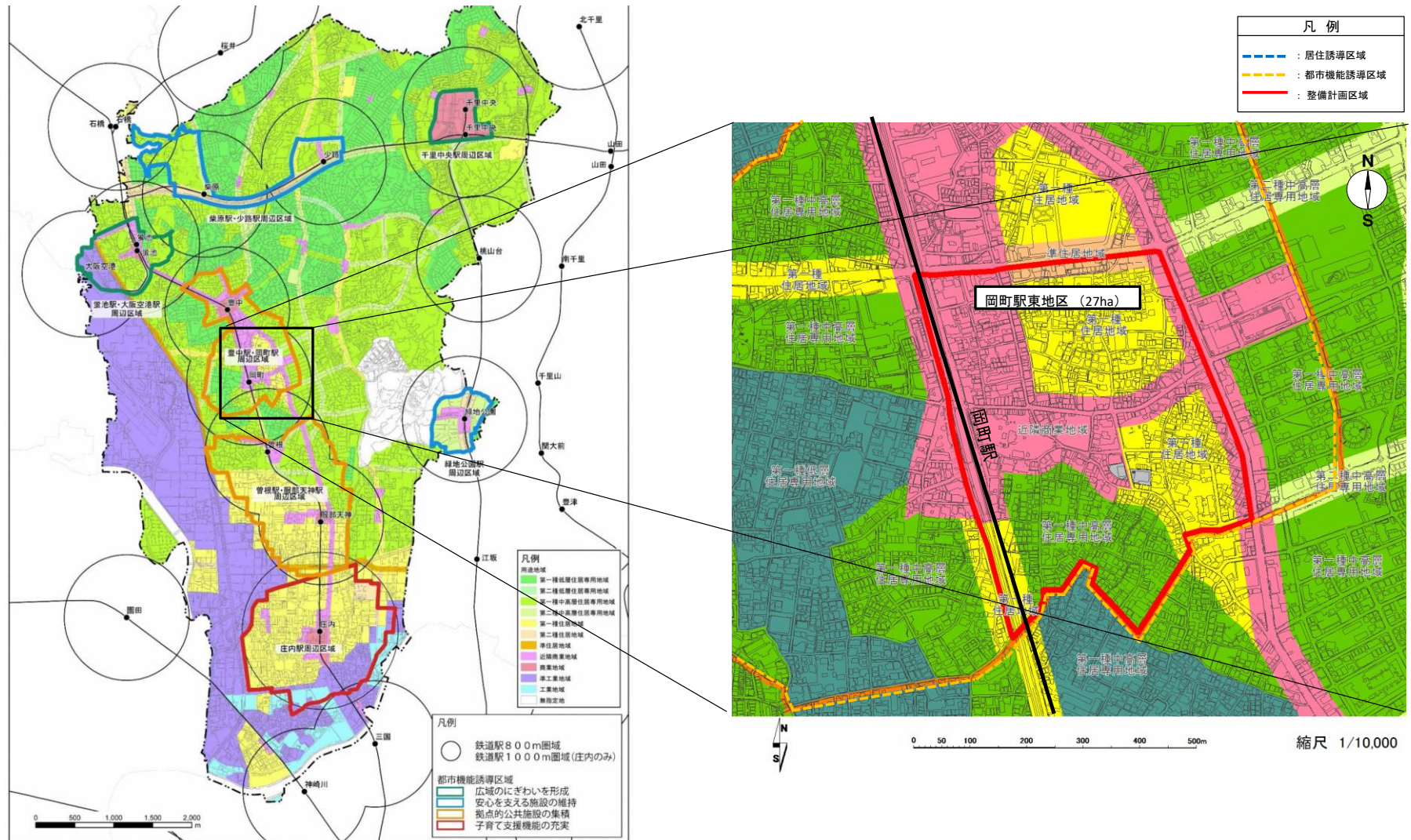
岡町駅東地区(大阪府豊中市)

面積

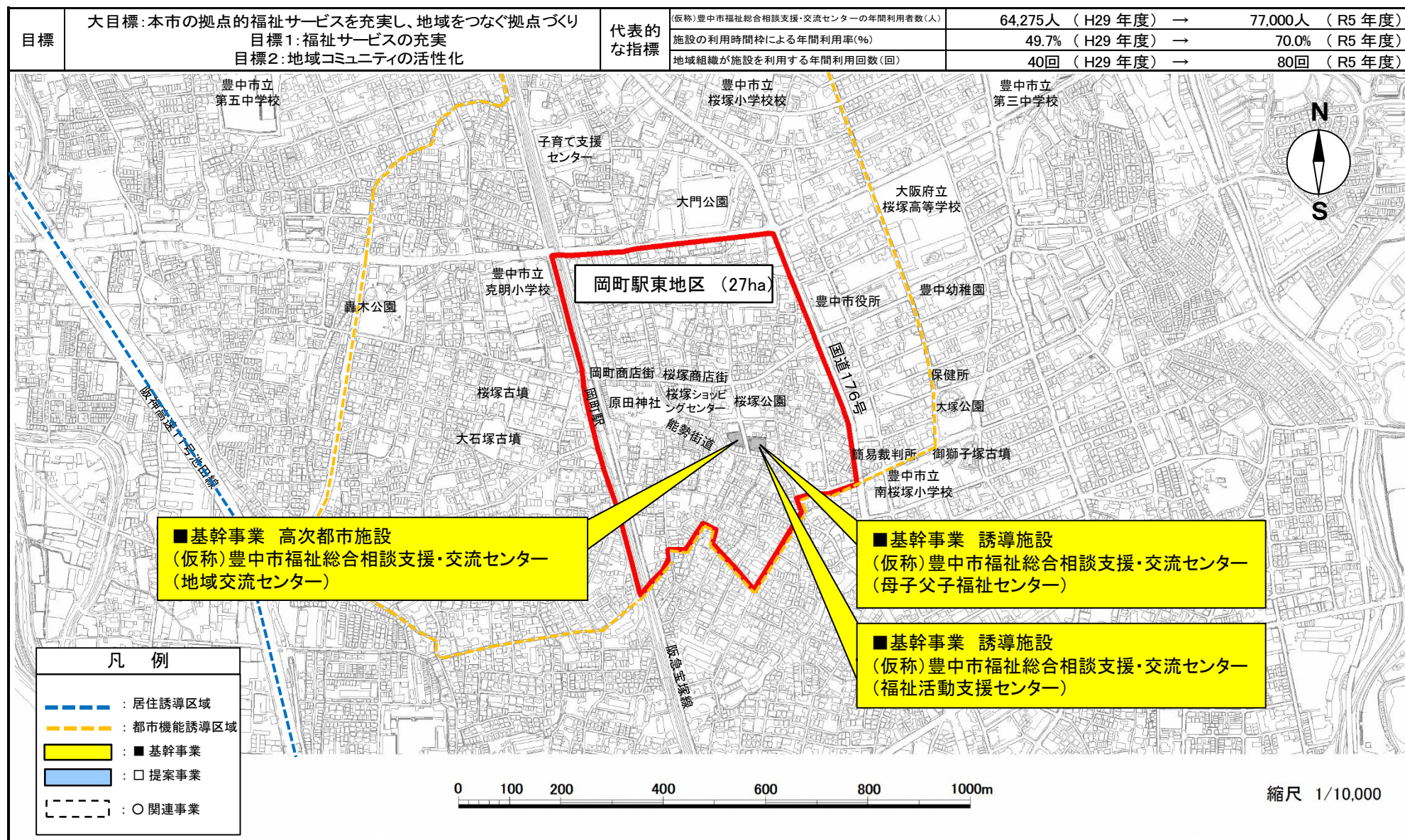
27 ha

区域

岡町、中桜塚1丁目の一部、中桜塚2丁目



岡町駅東地区(大阪府豊中市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)



豊中市公共事業再評価委員会

都市再生整備計画 事後評価シート（案） 【岡町駅東地区】

令和6年2月20日

豊中市

目次

事後評価【岡町駅東地区】

様式 2－1 評価結果のまとめ

- 1) 事業の実施状況（添付様式 1）
- 2) 指標の達成状況（添付様式 2）
- 3) 定性的な効果発現状況
- 4) 実施過程の評価（添付様式 3・4）

様式 2－2 地区の概要

- 1) まちの課題の変化（添付様式 5）
- 2) 今後のまちづくりの方策（改善策を含む）（添付様式 5）

様式2-1 評価結果のまとめ①

(1) 事業の実施状況

○概 要

項目	内容
地区名	岡町駅東地区
面積	27ヘクタール
交付期間	令和1年度～令和5年度

項目	内容
事後評価実施時期	令和6年度
交付対象事業費	756.4百万円
国費率	50%

○事業の実施状況

事業種別	事業名
基幹事業	高次都市施設／誘導施設 社会福祉施設（福祉活動支援センター）／ 誘導施設 社会福祉施設（母子父子福祉センター）
提案事業	なし

添付様式 1 (1) 成果の評価①

①都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

項目	変更の有無
A.まちづくりの目標	なし
B.目標を定量化する目標	なし
C.目標値	なし
D.その他	なし

②都市再生整備計画に記載した事業の実施状況 基幹事業

事業	事業箇所名	事業費	事業内容	変更の有無
高次都市施設	地域共生センター西館	273.2百万	RC3階建て 床面積576.42㎡	なし
誘導施設 社会福祉施設	地域共生センター東館（福祉活動支援センター）	370.9百万	RC3階建て 床面積629.58㎡	なし
誘導施設 社会福祉施設	地域共生センター東館（母子父子福祉センター）	112.3百万	RC3階建て 床面積190.59㎡	なし

添付様式 1 (1) 成果の評価②

②都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（つづき）

基幹事業

事業箇所名	目標を定量化する指標等への影響	完成
地域共生センター西館	福祉に関する機能の集約、文化活動の場、地域住民の立ち寄る交流スペースが整い、まちづくりの目標である福祉サービスの充実、地域コミュニティの活性化、また指標の達成に寄与した	●
地域共生センター東館（福祉活動支援センター）	福祉に関する機能を集約し、まちづくりの目標である福祉サービスの充実、また指標の達成に寄与した	●
地域共生センター東館（母子父子福祉センター）	福祉に関する機能を集約し、まちづくりの目標である福祉サービスの充実、また指標の達成に寄与した	●

提案事業：なし

様式 2-1 評価結果のまとめ②

(2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指標	従前値 (H29)	目標値 (R5)	評価値 (R6)	目標達成度	1年以内の 達成見込み
①施設利用者数 (人)	64,275	77,000	77,045	○	あり
②施設利用率（福祉 サービスの充実） (%)	49.7	70.0	70.1	○	あり
③地域組織の施設利 用回数（地域コミュ ニティの活性化） (回)	40	80	131	○	あり

添付様式 2 - ①

①都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指標	定義	従前値 (H29)	目標値 (R5)	評価値 (R6)			目標 達成度		1年以内 達成見込
①施設利用者数 (人)	施設の年間利用者数	64,275	77,000	モニタリング	R5	8,753	モニタリング	×	あり
				事後評価	見込み	77,045	事後評価	○	
②施設利用率（福祉サービスの充実）（%）	施設の利用時間枠による年間利用率	49.7	70.0	モニタリング	R5	59.3	モニタリング	×	あり
				事後評価	見込み	70.1	事後評価	○	
③地域組織の施設利用回数（地域コミュニティの活性化）（回）	地域組織が施設を利用する年間利用回数	40	80	モニタリング	R5	69	モニタリング	×	あり
				事後評価	見込み	131	事後評価	○	

添付様式 2 - ②

①都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況（つづき）

指標	目標達成度の理由	その他特記事項
①施設利用者数（人）	西館、東館の全館が供用開始し、全機能の稼働し始めた令和6年4月から令和6年12月までの利用状況より、令和6年度（令和6年4月から令和7年3月）の予想値は、目標値の達成が見込まれる。	モニタリングは令和6年1月から3月の利用状況。ただし、東館が未供用で、全機能が稼働していないため未達成。
②施設利用率（福祉サービスの充実）（％）		
③地域組織の施設利用回数（地域コミュニティの活性化）（回）		

様式 2－1 評価結果のまとめ③

（３）定性的な効果発現状況

- 福祉に関する機能が集約されたことにより、関係団体が連携しやすくなった。各種相談窓口が整い、分野を越え複合的な課題を持つ相談者を、館内で適切な機関につなぐことができるようになった。
- 西館のロビーでは、文化活動や福祉に関する相談・講習会、近隣の公園や商店街の利用者が立ち寄る交流スペースとなった。

様式2-1 評価結果のまとめ④

(4) 実施過程の評価

項目	実施内容	実施状況	今後の対応方針
①モニタリング	指標の算定	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	継続的に事業効果を確認するため、一定期間指標のモニタリングを行う。
②住民参加プロセス	中桜塚自治会 岡町・桜塚商店街	都市再生整備計画に記載し、実施できた	令和6年10月、地域の「秋まつり」に合わせて、「神輿」を西館ロビーに展示したことにより、多くの地域住民の来場があった。地域住民や地元商店街と協力して、今後も「夏まつり」などを実施し、地域住民が集いなくなる施設となるように取り組む。
③持続的なまちづくり体制の構築	おかまち・まちづくり協議会		令和6年12月に豊中市と協議会で役割分担し、西館を地域資源として活用して「にぎわいづくり」に活かしていくことを検討した。今後も利用を増進し、持続的なまちづくりにつなげる。

添付様式3ー①

①モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
指標の算定	予定はなかったが実施した	令和6年1月～3月の西館について、指数の利用者数8,753人、施設利用率59.3%、地域組織の施設利用回数69回を計測した。	継続的に事業効果を確認するため、一定期間指標のモニタリングを行う

②住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
中桜塚自治会 岡町・桜塚商店街	予定どおり実施した	令和6年10月「秋まつり」で西館を活用した。（「神輿」を西館ロビーに展示）	今後も「夏まつり」なども含め利用を増進していく

添付様式 3 ー②

③持続的なまちづくり体制の構築

都市再生整備計画に記載した内容又は、実際に実施した内容	実施状況	i 体制構築に向けた取組内容	ii まちづくり組織名：組織の概要	今後の対応方針等
おかまち・まちづくり協議会	予定どおり実施した	令和6年12月に豊中市と協議会で役割分担し、西館を地域資源として活用して「にぎわいづくり」に活かしていくことを検討した。	おかまち・まちづくり協議会： 「おかまち・まちづくり構想」に基づき、都市活動活性化、歴史再発見、地区内交通円滑化、安全・安心な環境づくり、を基本方針としてまちづくりを進める民間組織。	今後も利用を増進していく

添付様式 4－①

①数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標 1		指標 2		指標 3	
指標名		施設利用者数		施設利用率 (福祉サービスの充実)		地域組織の施設利用回数 (地域コミュニティの活性化)	
種別	事業名・ 箇所名	指標改 善への 貢献度	総合所見	指標改 善への 貢献度	総合所見	指標改 善への 貢献度	総合所見
基幹 事業	地域共生センター 西館	◎	福祉に関する各種相 談窓口の集約、文化 活動や福祉に関する 講習会の実施や、近 隣の公園や商店街の 利用者が立ち寄る交 流スペースが整った ことから、施設使用 者数が増加した。	◎	福祉に関する各種 相談窓口の集約、 文化活動や福祉に 関する講習会の実 施や、近隣の公園 や商店街の利用者 が立ち寄る交流ス ペースが整ったこ とから、施設使用 者数が増加した。	◎	文化活動や福祉 に関する講習会 の実施や、近隣 の公園や商店街 の利用者が立ち 寄る交流スペー スが整ったこと から、施設使用 者数が増加した。
	地域共生センター 東館（福祉活動支 援センター）	◎		◎		－	
	地域共生センター 東館（母子父子福 祉センター）	◎		○		－	

添付様式 4 - ②

①数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理（つづき）

指標の種別	指標 1	指標 2	指標 3
指標名	施設利用者数	施設利用率 (福祉サービスの充実)	地域組織の施設利用回数 (地域コミュニティの活性化)
今後の活用	親子が一緒に催しに参加できる子どもが安全で遊べるスペースの設置、ロビーの利用者を増やすための展示スペース・ウォーターサーバーの設置等を検討し、利用増進を図る。	夜間の利用率を高めるため、自習室としての解放を検討する。	来訪者や貸室利用団体、自治会、協議会、商店街などの意見を把握し、利用増進に向け、改善を継続していく。

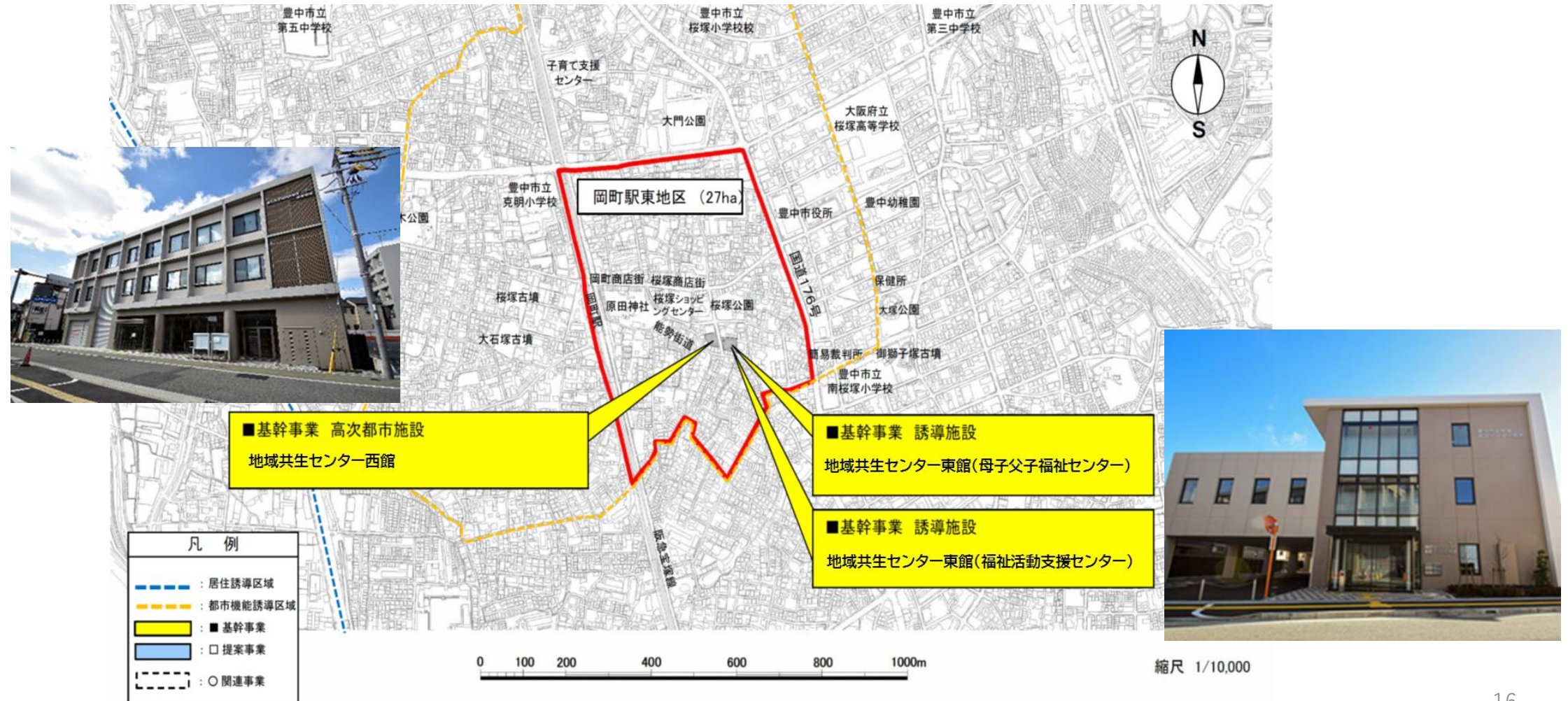
様式 2-2 地区の概要①

○事業の概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値 (H29)	目標値 (R5)	評価値 (R6)
大目標：本市の拠点福祉サービスを充実し、地域をつなぐ拠点づくり 目標 1：福祉サービスの充実	施設利用者数（人）	64,275	77,000	77,045
	施設利用率（福祉サービスの充実）（％）	49.7	70.0	70.1
目標 2：地域コミュニティの活性化	地域組織の施設利用回数（地域コミュニティの活性化）（回）	40	80	131

様式2-2 地区の概要②

○事業の概要図



様式 2－2 地区の概要③

(1) まちの課題の変化

- 施設が新設され、福祉に関する各種相談窓口が集約されたことにより、関係団体間の連携が強化され、分野を越えた複合的な課題を持つ相談者への支援力も強化し、福祉サービスが充実した。
- 「地域共生センター西館」では、131団体の地域組織の利用があり、文化活動や福祉に関する相談・講習会の実施や、近隣の公園や商店街の利用者が立ち寄る交流スペースとなり、コミュニティーが活性化した。
- 本事業により福祉に関する複合拠点、地区会館が整備されたことにより、公共サービスの中心的拠点として必要な拠点の公共施設が整い、課題が解決した。ただし、市民の利便性を向上するため、拠点の公共施設である地域共生センターを引き続き周知していく必要がある。

様式 2－2 地区の概要④

（２）今後のまちづくりの方策（改善策を含む）

- 地域共生センターに来訪する利用者の利用実態を継続的に把握していく。（施設利用者等のモニタリング、利用者アンケートの実施）
- 地域共生センターに入居する関連団体間の連携を強化していくため、連絡会議を設け、施設運用を継続的に改善し、効果を維持していく。（連絡会議の実施、施設運用の継続的な改善）
- 市民の利便性を向上するため、地域共生センターの施設案内や施設内で開催するイベントなどを市広報紙・HPに記載したり、他の公共施設等でチラシを配架し、広報していく。地域イベントの開催などは商店街と連携し広報していく。（市広報紙・HP、チラシ等による広報）

添付様式5ー①

○まちの課題の変化

事業前の課題（都市再生整備計画に記載したまちの課題）	達成されたこと（課題の改善状況）	残された未解決の課題	事業によって発生した新たな課題
施設の老朽化、新たなニーズに対応していくために、福祉会館、母子父子福祉センターの更新、機能強化が必要	施設が新設され、福祉に関する各種相談窓口が集約されたことにより、関係団体間の連携が強化され、分野を越えた複合的な課題を持つ相談者への支援力も強化し、福祉サービスが充実した。	なし	市民の利便性を向上するため、拠点公共施設である地域共生センターを引き続き周知していく必要がある。
少子高齢化、担い手不足に対応し、豊かな地域資源の有効活用していくために、地域住民、商業者、地域組織をつなぐコミュニティーの活性化が必要	「地域共生センター西館」では、131回の地域組織の利用があり、文化活動や福祉に関する相談・講習会の実施や、近隣の公園や商店街の利用者が立ち寄る交流スペースとなり、コミュニティーが活性化した。		

添付様式5ー②

○今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させる ために行う方策	効果の持続 を図る事項	効果を持続させるための 基本的な考え方	想定される事業
	利用実態の把握	地域共生センターに来訪する利用者の利用実態の継続的に把握していく。	・施設利用者等のモニタリング ・利用者アンケートの実施
	連携強化の継続	地域共生センターに入居する関連団体間の連携を強化していくため、連絡会議を設け、施設運用を継続的に改善し、効果を維持していく。	・連絡会議の実施 ・施設運用の継続的な改善

添付様式5ー③

○今後のまちづくり方策（つづき）

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	施設・イベント の周知	市民の利便性を向上するため、地域共生センターの施設案内や施設内で開催するイベントなどを市広報紙・HPに記載したり、他の公共施設等でチラシを配架し、広報していく。地域イベントの開催などは商店街と連携し広報していく。	市広報紙・HP、チラシ等による広報

添付様式5ー④

○目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

指標	従前値 (H29)	目標値 (R5)	評価値 (R6)	目標達成度	1年以内の 達成見込み
①施設利用者数（人）	64,275	77,000	77,045	○	あり
②施設利用率（福祉サービスの充実）（%）	49.7	70.0	70.1	○	あり
③地域組織の施設利用回数（地域コミュニティの活性化）（回）	40	80	131	○	あり



予定時期	計測方法	その他特記事項
令和7年4月	令和7年1月から3月をフォローアップ期間とし、令和6年4月から令和7年3月までの実績値を令和6年度の確定値として求める	施設・イベントの周知を継続

添付様式 6－①

○当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標・成果の達成	うまくいった点	福祉に関する機関を集積し、地域会館や「神輿」の展示、ロビースペースを設けた複合施設を整備したことで、多くの方に利用者が利用出来る施設となり、福祉サービスの充実、コミュニティの活性を図ることができ、指標を達成する見通しがついた。	多様な機能を集積することで利用強化が図れ、サービスの充実や地域コミュニティの活性化が期待できる。
	うまくいかなかった点	なし	
数値目標と目標・事業との整合性等	うまくいった点	福祉施設については来訪者が多いことが、必ずしも評価を上げるものでないことをふまえて、指標を精査したことにより、利用実態を適正に把握することができた。	事業効果を確認するため、現況データを整理し、事業当初から継続的に利用実態を把握していく方法を決めておくことが重要である。
	うまくいかなかった点	なし	

添付様式 7-①

○事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表・意見受付期間	意見の受付方法
インターネット	市ホームページに原案と意見収集方法を記載	令和7年2月6日（木）～ 令和7年2月19日（水）	郵送、ファックス、 電子メール及び電子 申込システムでの申 込受付
その他	窓口閲覧（地域共生課、 地域共生センター西館）		

意見

- ・夜間の利用をさせていただいてます。会議だけでなく、子供たちの習い事などで活用されれば、もっと地域に馴染みのある活気のある建物になると思います。
- ・ロビーは、学生や子供たち、お年寄りなど様々な世代の方が立ち寄って足を休められるよう、テーブルや飲み物などがあると、人の集まる場所として交流がより促進されると思いました。
- ・中央地域包括支援センターと障害相談支援センターが西と東にそれぞれあることは、両方にお世話になる方にとって便利だと思います。
- ・消防団やセンターで、駐車場などでお餅つき大会や消防車の写真撮影会などやっていたら楽しそうだなと思いました。

「地域共生センター(まるぷらっと)西館」利用者アンケート調査報告

地域共生センターの利用実態や利用増進に向けた意向を把握するため、「地域共生センター(まるぷらっと)西館」の利用者を対象にアンケートを実施しました。

調査では、施設を以前から知っていた方の利用が多く、平日の午後の利用、月毎に定期的に会議や講座・教室・研修会での利用が多く、利用料も妥当とする意見が多くなっています。利用増進では、フリーWi-Fiの設置やインターネットでの本予約、ロビーでは自動販売機の設置、椅子・ソファを設置するなど意向が多くなっています。また、館内のイベントや展示については、十分に周知されていないことがわかりました。

実施日：令和7年1月3日～令和7年1月31日

対象者：地域共生センター(まるぷらっと)西館の貸室申し込み者

実施方法：施設の利用開始時の受付の際に配布し、利用完了時に受付で回収

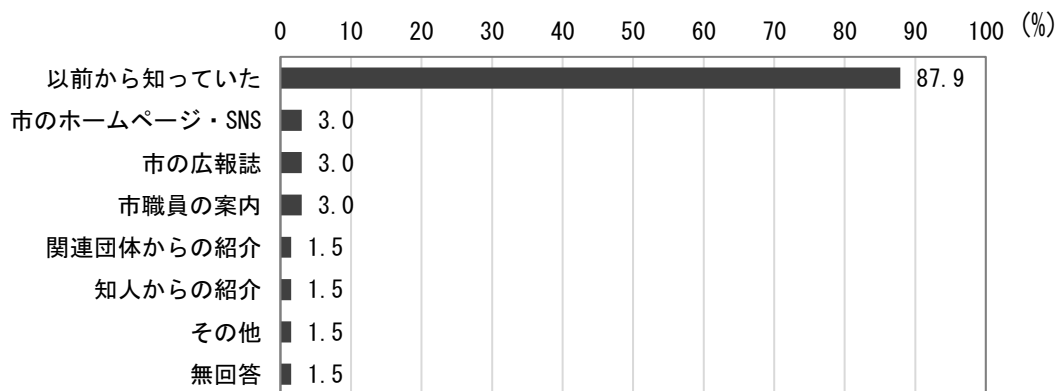
回収数：66件

1. 利用状況について

①施設の認知

問2. 当館をどのようにして知ったのか、お教えてください。(〇はいくつでも)

・「以前から知っていた」が87.9%と他と比べて高くなっています。

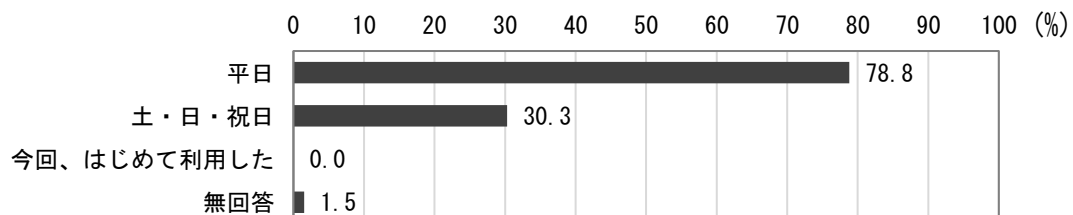


②利用する日・時間

問3. よくご利用される日・時間帯をお教えてください。

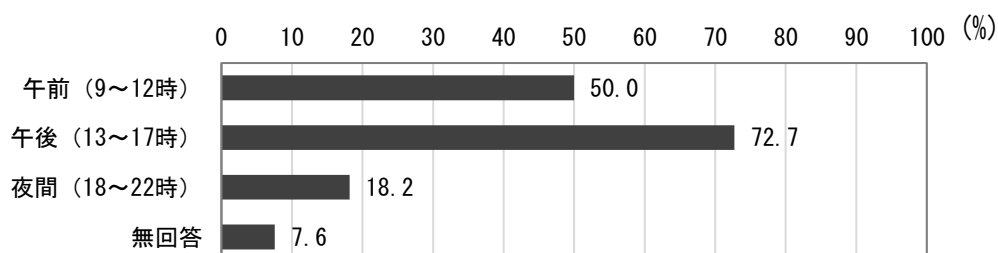
(1) よく利用する日 (〇はいくつでも)

・「平日」が78.8%と高くなっています。



(2) よく利用する時間帯 (〇はいくつでも)

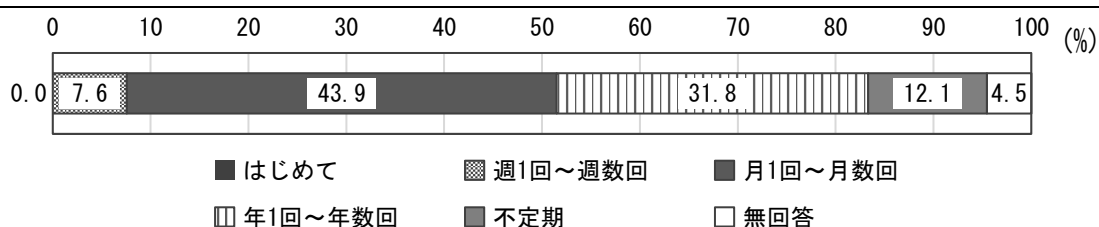
- ・「午後 (13～17 時)」が 72.7% と高くなっています。
- ・一方、「夜間 (18～22 時)」が 18.2 と低くなっています。



③利用する頻度・部屋 (スペース)

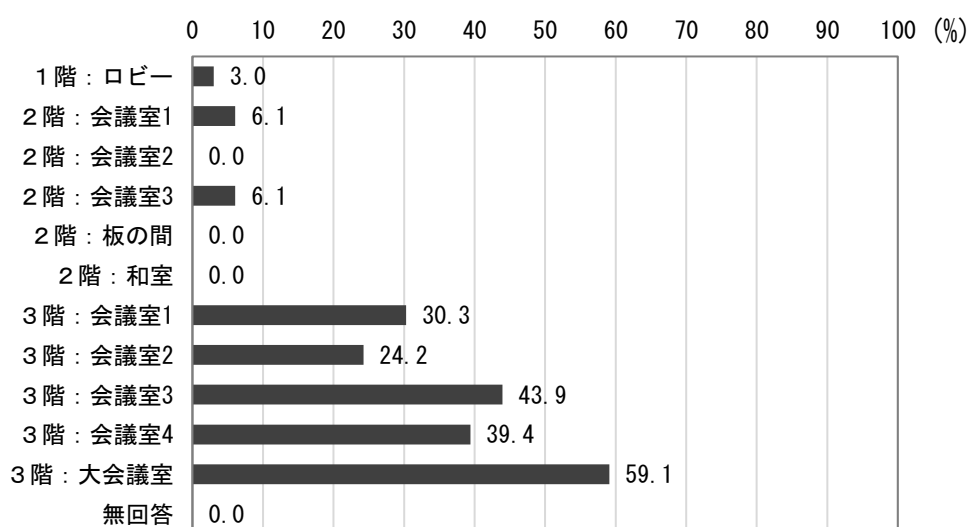
問4. ご利用頻度をお教えてください。(〇は1つ)

- ・「月1回～月数回」が 43.9% と高く、月毎に定期的に利用する方が多くなっています。
- ・次いで、「年1回～年」が 31.8% と高くなっています。



問5. よくご利用される部屋 (スペース) をお教えてください。(〇はいくつでも)

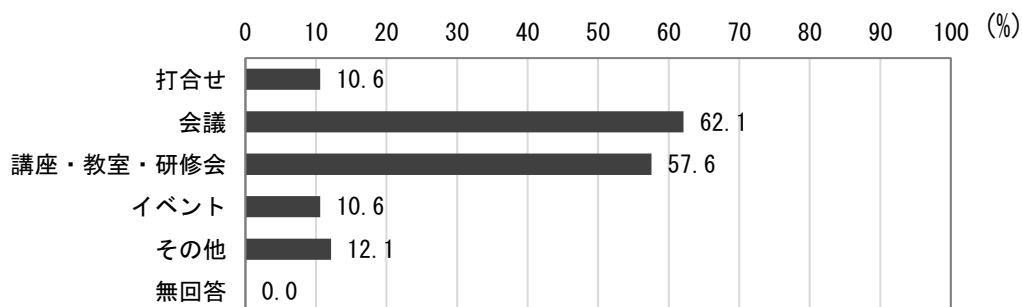
- ・「3階：大会議室」が 59.1% と他と比べて高く、次いで「3階：会議室3」が 43.9%、「3階：会議室4」が 39.4% となっています。



④利用する目的・人数

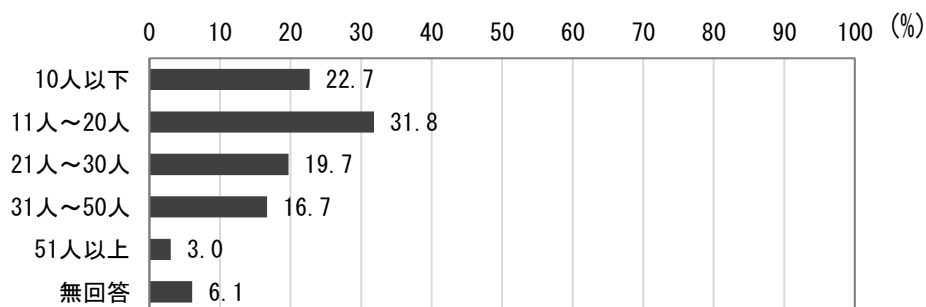
問6. ご利用目的をお教えてください。(○はいくつでも)

・「会議」が62.1%、「講座・教室・研修会」が57.6%と他と比べて高くなっています。



問7. 平均的なご利用人数をお教えてください。(○は1つ)

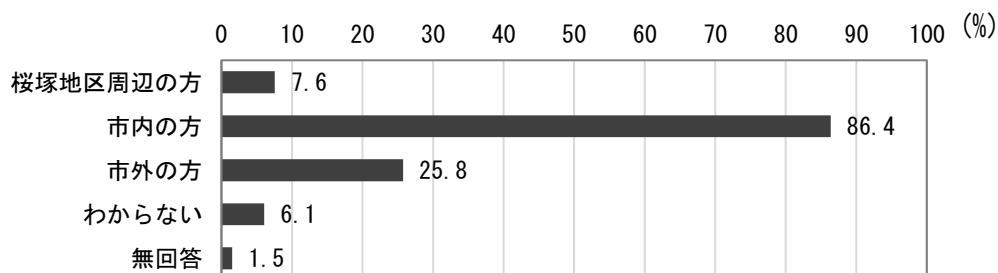
・「11人～20人」が31.8%と高くなっています。



⑤参加者の住まい

問8. 参加されたみなさまが、どちらにお住まいの方かお教えてください。(○はいくつでも)

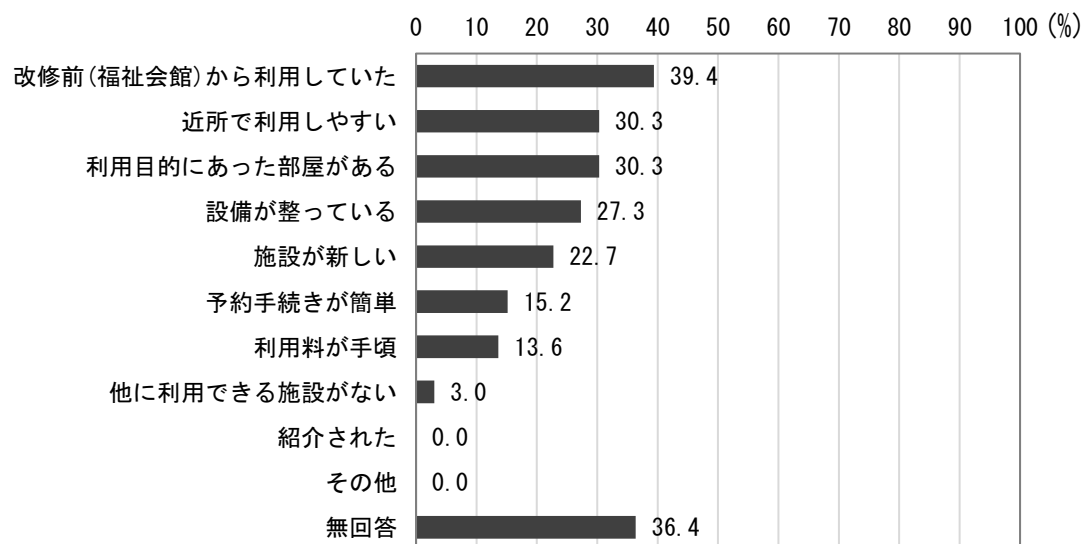
・「市外の方」が25.8%と、一定数を占めています。



⑥利用目的・利用料金

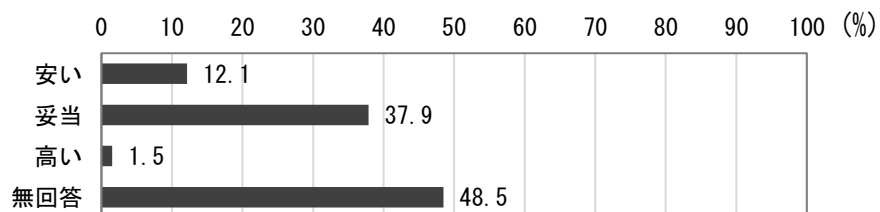
問9. 当館をご利用された理由をお教えてください。(○はいくつでも)

- ・「改修前(福祉会館)から利用していた」が9.4%と高くなっています。
- ・次いで、「近所で利用しやすい」「利用目的にあった部屋がある」がともに30.3%となっています。



問10. 利用料の金額についてお教えてください。(○は1つ)

- ・「妥当」が37.9%と他と比べて高くなっています。



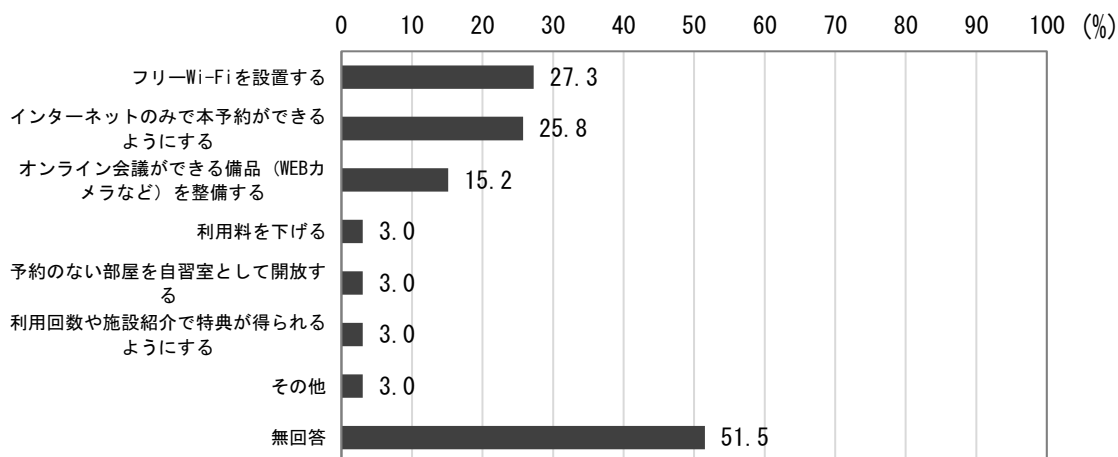
多くの方に利用していただくためのアイデアについて

①利用増進のアイデア

問 11. 当館をより一層多くの方にご利用いただくアイデアをお教えてください。

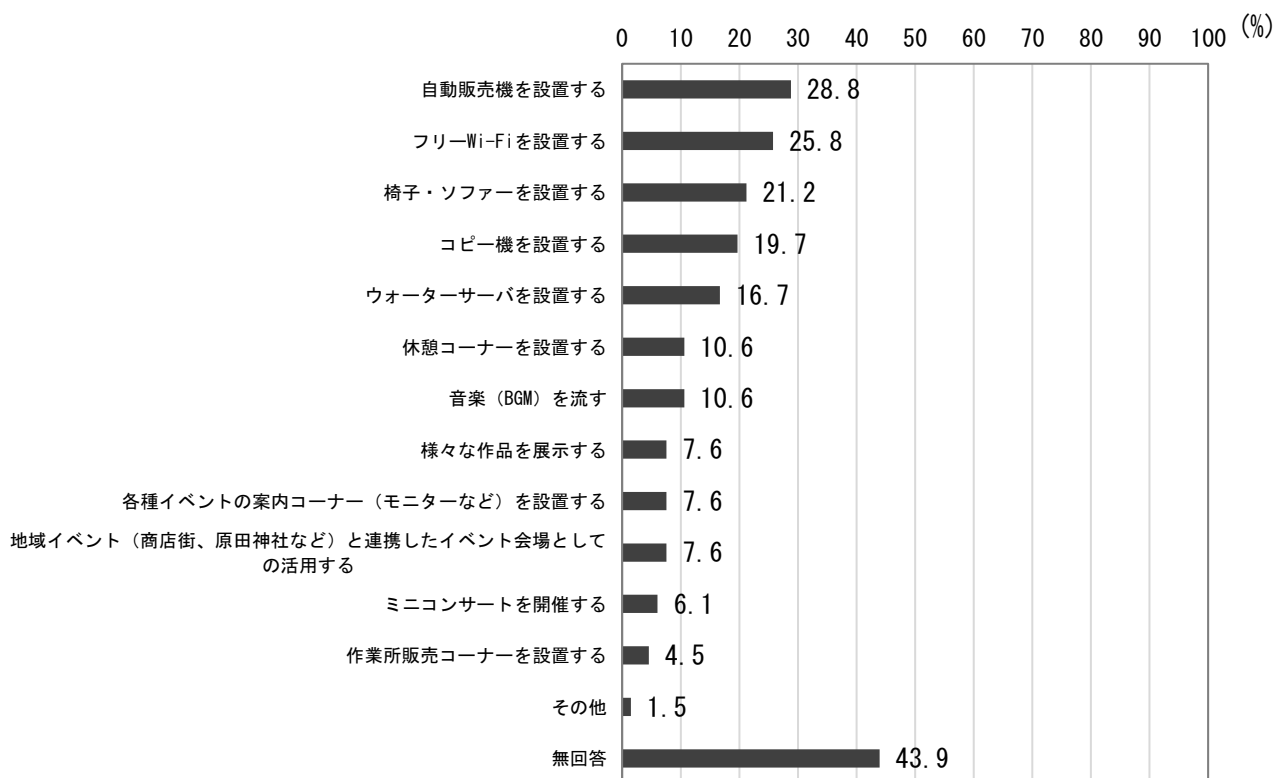
(1) 貸館を利用しやすくするための工夫について (〇はいくつでも)

・「フリーWi-Fiを設置する」が27.3%、「インターネットのみで本予約ができるようにする」が25.8%と高くなっています。



(2) ロビーを利用しやすくするための工夫について (〇はいくつでも)

・「自動販売機を設置する」が28.8%、次いで「フリーWi-Fiを設置する」が25.8%、「椅子・ソファを設置する」が21.2%と高くなっています。



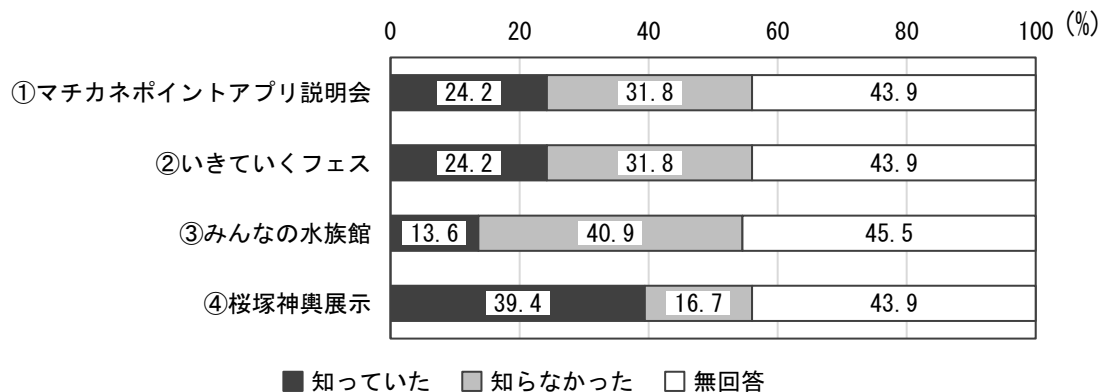
「地域共生センター（まるぷらっと）西館」のイベント・展示について

① イベントや展示について

問 12. 当館で開催したイベントや展示についてお教えてください。（〇は1つ）

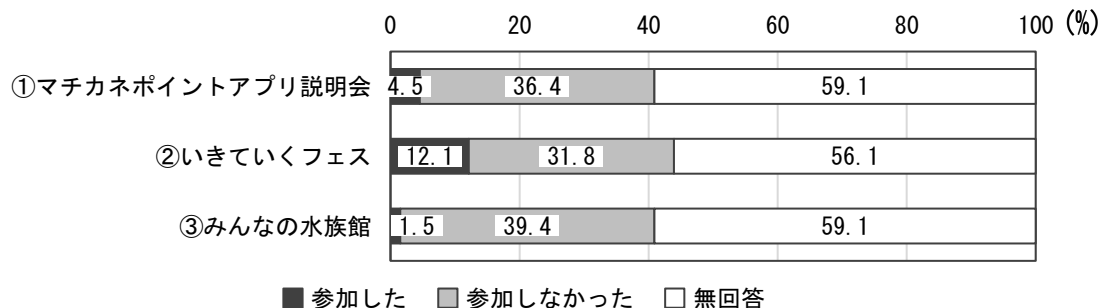
（1）認知

- ・「知っていた」では、④桜塚神輿展示が 39.4%と高くなっています。
- ・一方、①マチカネポイントアプリ説明会、②いきていくフェス、③みんなの水族館は低くなっています。



（2）参加

- ・すべてのイベントで「参加なかった」が多くなっています。



＜調査票＞

地域共生センター(まるぷらっと)西館 利用者アンケート調査

この度は、「地域共生センター(まるぷらっと)西館」をご利用いただき、ありがとうございます。

「地域共生センター(まるぷらっと)西館」を、今後より一層多くの方にご利用いただける施設とするため、ご利用いただいた団体様、個人利用者様にアンケート調査を実施しております。

お手数ですが、ご協力をお願いいたします。

※本アンケート調査は、目的以外に使用いたしません。

＜回答者様について＞

問1. ご利用団体名をお教えてください。(個人利用の方は、問2に進んでください。)

(1) 団体名		}
(2) 団体の所在地	市・町	}

＜利用状況について＞

問2. 当館をどのようにして知ったのか、お教えてください。(〇はいくつでも)

1. 以前から知っていた	2. 市のホームページ・SNS	3. 市の広報誌
4. 市職員の案内	5. 関連団体からの紹介	6. 知人からの紹介
7. その他		

問3. よくご利用される日・時間帯をお教えてください。

(1) よく利用する日 (〇はいくつでも)		
1. 平日	2. 土・日・祝日	3. 今回、はじめて利用した
(2) よく利用する時間帯 (〇はいくつでも)		
1. 午前 (9～12時)	2. 午後 (13～17時)	3. 夜間 (18～22時)

問4. ご利用頻度をお教えてください。(〇は1つ)

1. はじめて	2. 週1回	3. 週数回	4. 月1回	5. 月数回
6. 年1回	7. 年数回	8. 不定期		

問5. よくご利用される部屋(スペース)をお教えてください。(〇はいくつでも)

(1階:地域共生センター) 1. ロビー										
(2階:桜塚会館) 2. 会議室1 3. 会議室2 4. 会議室3 5. 板の間 6. 和室										
(3階:地域共生センター) 7. 会議室1 8. 会議室2 9. 会議室3 10. 会議室4 11. 大会議室										

問6. ご利用目的をお教えてください。(〇はいくつでも)

1. 打合せ	2. 会議	3. 講座・教室・研修会	4. イベント
5. その他			

問7. 平均的なご利用人数をお教えてください。(〇は1つ)

1. 10人以下	2. 11人～20人	3. 21人～30人	4. 31人～50人	5. 51人以上
----------	------------	------------	------------	----------

問8. 参加されたみなさまが、どちらにお住まいの方かお教えてください。(〇はいくつでも)

1. 桜塚地区周辺の方	2. 市内の方	3. 市外の方	4. わからない
-------------	---------	---------	----------

裏面へ

問9. 当館をご利用された理由をお教えてください。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------------|--------------|------------------|
| 1. 改修前(福祉会館)から利用していた | 2. 近所で利用しやすい | 3. 利用目的にあった部屋がある |
| 4. 設備が整っている | 5. 施設が新しい | 6. 予約手続きが簡単 |
| 7. 利用料が手頃 | 8. 紹介された | 9. 他に利用できる施設がない |
| 8. その他 [] | | |

問10. 利用料の金額についてお教えてください。(〇は1つ)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. 安い | 2. 妥当 | 3. 高い |
|-------|-------|-------|

<多くの方に利用していただくためのアイデアについて>

問11. 当館をより一層多くの方にご利用いただくアイデアをお教えてください。

(1) 貸館を利用しやすくするための工夫について (〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1. フリーWi-Fiを設置する | 2. オンライン会議ができる備品 (WEBカメラなど)を整備する |
| 3. インターネットのみで本予約ができるようにする | 4. 利用料を下げる |
| 5. 予約のない部屋を自習室として開放する | 6. 利用回数や施設紹介で特典が得られるようにする |
| 7. その他 [] | |

(2) ロビーを利用しやすくするための工夫について (〇はいくつでも)

- | | | |
|---|----------------------------------|-----------------|
| 1. フリーWi-Fiを設置する | 2. ウォーターサーバを設置する | 3. 自動販売機を設置する |
| 4. 椅子・ソファを設置する | 5. 休憩コーナーを設置する | 6. 音楽 (BGM) を流す |
| 7. 様々な作品を展示する | 8. 作業所販売コーナーを設置する | 9. ミニコンサートを開催する |
| 10. コピー機を設置する | 11. 各種イベントの案内コーナー (モニターなど) を設置する | |
| 12. 地域イベント (商店街、原田神社など) と連携したイベント会場としての活用する | | |
| 13. その他 [] | | |

<「地域共生センター (まるぶらっと) 西館」のイベント・展示について>

問12. 当館で開催したイベントや展示についてお教えてください。

当館で開催した次のイベント・展示の認知、参加について

イベント・展示	認知 (〇は1つ)	参加 (〇は1つ)
①マチネポイントアプリ体験	1. 知っていた 2. 知らなかった	1. 参加した 2. 参加しなかった
②いきていくフェス	1. 知っていた 2. 知らなかった	1. 参加した 2. 参加しなかった
③みんなの水族館	1. 知っていた 2. 知らなかった	1. 参加した 2. 参加しなかった
④桜塚神輿展示	1. 知っていた 2. 知らなかった	—

その他、当館についてご意見があれば、ご自由にご記入ください。

[]

アンケート調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。